

感染者情報の活用のあり方に関するWG これまでの検討状況等

1. これまでの開催状況

7月22日（水） 第1回WG

【主な内容】

- WGの運営について
- HER-SYSの運用・改善について
- データの精度管理について
- 入力データの活用方策について

8月11日（火） 第2回WG

【主な内容】

- 収集データの活用のあり方
- 感染症情報の収集・管理の仕組み・体制のあり方等
- これまでのシステム改修への対応状況
- データの精度管理における地衛研・感染研の関与の仕組み

2. 今後の進め方

WGと平行して、入力データの精度管理、更なるシステム改善、収集データの活用のあり方に関する少人数による実務的検討を進めるとともに、WG等における議論を踏まえた運用上の改善（システム改修等を含む。）を随時実施。

これまでのWGで出された主な意見

(事務局にて整理したもの)

【HER-SYS の運用・改善について】

- 現状は、HER-SYS という新しいシステムができたものの、システム上の要改善事項も依然として多いという認識。これまで、自治体の意見を聞いて様々な改善を行ってきたことは理解したが、今後とも、現場の声を良く聞いて改善していくべき。
- HER-SYS の活用のためには、医療機関での入力を進めることが必要。事務負担や入力の負担を勘案し、医療機関に入力するインセンティブが湧く仕組みとすべき。
- 検査数が膨大になると、全部入力するのは現場の負担につながりかねない。入力項目については、感染症法に基づく発生届情報、迅速な登録が必要な項目、疫学調査を経た上で把握できる項目など、項目の種類・性質に応じて改めて整理することも必要ではないか。併せて、必須項目の在り方についても再整理すべきではないか。

【データの精度管理（地衛件・感染件の関与の仕組みを含む）について】

- 疫学情報等も入力できる HER-SYS を効果的に活用するには、データの精度確保が重要。
- データの精度確保のため、地方衛生研究所（地方感染症情報センター）や国立感染症研究所（中央感染症情報センター）の関与により、迅速性と精度確保を上手く両立できるような在り方を考えるべき。
- データ入力に係る保健所や医療機関の負担軽減のため、入力のための人員を国から派遣するといったことも一案として考えられるかもしれない。

【入力データの活用について】

- HER-SYS に正確に入力されたデータが、地域の感染症対策（患者数の抑制等）につながるような流れを作っていくことが重要。
- HER-SYS において地方公共団体が共通的に公表している表やグラフの作成機能があると、複雑な作業をしなくてもよくなるため便利。
- データ入力の精度管理と入力データの活用は車の両輪のような関係。データの精度管理を進めつつ、入力データの活用を図っていくことが望ましい。

アドバイザー・ボード 感染者情報の活用のあり方に関するWG設置要綱

1. 趣旨

厚生労働省において、感染者等の情報を一元的に把握・管理するため、「新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS）」が開発・導入され、5月末から全国で順次利用を開始しているところである。

より効率的・効果的なサーベイランスに資するよう、HER-SYSの運用上の課題の検討、収集されるデータの集計・分析及び結果の活用のあり方並びに感染症情報の収集・管理の仕組み・体制のあり方等について、医療・公衆衛生分野の専門的・技術的見地から検討するため、感染者情報の活用のあり方に関するワーキング・グループ（以下「本WG」という。）を開催する。

2. 構成・運営

- (1) アドバイザー・ボードの下に本WGを置く。本WGのメンバーはアドバイザー・ボードの座長が指名する者とする。
- (2) 本WGに座長を置く。座長は、アドバイザー・ボードの座長が指名する者をもって充てる。
- (3) 座長は、必要に応じ、本WGの会合に関係者の参加を求めることができる。
- (4) 事務局は、本WGの求めに応じ、検討に必要な情報の提供その他の必要な支援を行う。

3. 審議内容の公表等

- (1) 座長が適当と認めるときは、本WGの会合を非公開とすることができる。
- (2) 会合における審議内容の公表は、会議資料並びに開催日時、開催場所、出席者、議題、発言者及び発言内容を記載した議事概要によることとする。
- (3) その他アドバイザー・ボードの運営に関して必要な事項は、座長が定める。

【構成員】◎：座長

押谷 仁	東北大学大学院医学系研究科微生物学分野教授
釜菴 敏	公益社団法人日本医師会常任理事
清本 次保	神奈川県健康医療局保健医療部健康医療データ活用担当課長
◎ 鈴木 基	国立感染症研究所感染症疫学センター長
仙賀 裕	一般社団法人日本病院会副会長
前田 秀雄	北区保健所長
松田 晋哉	産業医科大学公衆衛生学教授
三崎 貴子	川崎市健康安全研究所企画調整担当部長

HER-SYSの運用改善等に向けた 今後のスケジュール（予定）

	8月	9月
感染者情報の活用 のあり方に関 するWG	<p style="text-align: center;">第2回 WG(8/11)</p> <p style="text-align: center;">●</p> <p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">データ分析に関する実務的検討</p>	
入力データの 精度管理	<p style="text-align: center;">精度管理の仕組み づくりの検討</p> <p style="text-align: center;">←</p> <p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">新たな仕組みについて、自治体 等への事務連絡発 出 運用に向けた実務的準備</p>	<p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">感染研・地衛研によるデータチェック</p> <p style="text-align: center;">←</p> <p style="text-align: center;">システム改修を経た上で、新たなID（必要十分な情報が閲覧可能な）を 感染研・地衛研に付与</p> <p style="text-align: center;">→</p>
更なるシステム 改善	<p style="text-align: center;">自治体・医療機関等へのアンケート実施 （医療機関における入力実態把握、 システム改修要望項目の収集等）</p> <p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">←</p>	<p style="text-align: center;">アンケート結果の整理 システム改修項目の優先順位付け</p> <p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">システム改修 （順次対応）</p> <p style="text-align: center;">→</p>
集計・分析ツ ール（Power BI）の活用	<p style="text-align: center;">BI利用開始に関する事 務連絡発出(8/6)</p> <p style="text-align: center;">●</p> <p style="text-align: center;">←</p> <p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">自治体へのID付与（順次） 定型帳票の作成等</p>	<p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">現場での利用開始 更なる活用方法の検討</p> <p style="text-align: center;">→</p>